

三月読みとりおけいこ⑦（中）

名前（

三月十一日は東日本大震災ひがしにほんだいしんさいが起きた日です。

二〇一一年三月十一日午後二時四十六分のことでした。

宮城県沖約百三十キロメートルの海底を震源しんげんとしてマグニチュード九の地しんがおきました。これは日本で過去に観測された最大の規模の地しんです。南北五百キロメートル・東西二百キロメートルの広い範囲はんいがゆれました。そして、高さ十メートルをこす津波つなみが発生し、四十キロメートル以上も川を逆流ぎゃくりゅうする場所も出てきて、家も人も飲み込まれたのです。

それだけでも悲惨ひさんなのに、原子力発電所では地しんと津波によりすべての電源を失い、原子炉けんしろを冷やすことができず大量の放射性物質ほうしやせいぶつがもれだす事故をおこしてしまったのです。

二〇一九年十二月十日の時点で死者・行方不明者は一万八千四百二十八人とされています。そして、今でも仮設住宅で暮らしておられる方や家族をさがしておられる方がいます。

この悲劇ひげきを私たちは決して忘れてはいけません。なぜなら、同じようなことはどこでもおこりうるからだからです。一九九五年一月一七日には阪神淡路大震災はんしんあわじだいしんさいが起きて、兵庫県中心に大きな被害がでました。この時は京都でも震度五を記録しました。

過去には、例えば慶長けいちやうの大地震では豊臣秀吉の伏見城がくずれ、四百人ほどの人が城内で死んでいます。京都も、いつなんどき大地しんにおそわれるかわからないのです。若狭湾わかさわんには原子力発電所もあり、私たちが使う電気もそこにたよる部分が大きいです。備え、考えることが大切です。音読サイン↓

① 何の話でしょう？

② 東日本大震災は今から何年前におこったのですか？

③ 地しんの規模を表す言葉をぬき出しましょう。

④ 一月十七日におこったのは何ですか？

⑤ その場所でのゆれの度合いを表す言葉は？

⑥ 海底のゆれが海水をゆらして陸地をおそう現象をなんといいいますか？

⑦ 家をなくした人がかりに住むための家をなんと
いうのか書きだしましょう？

⑧ 電気を作る所をなんといいますか？

⑨ あっているものに○をつけましょう。

- () 東北は遠いからかんけない。
() 織田信長の伏見城は地しんでくずれた。
() 京都大震災もおこるかもしれない。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？

